

獨混全旅營第六號 昭二二一八

調製官 陸軍軍醫大尉 真岡 修

昭二十二年十一月	自	二日	衛生業務要報	地	都昌縣	隊	獨混全旅營第六號
			衛生史編纂資料	名	都昌	號	

一部隊行動ノ概要  
ノ一般狀況

- (1) 兵團ハ都昌縣南山麓ニ位置シ築營ノ補備作業ヲ進メツ、重兵ヲ現地自治ニ指向シ兵團長以下農民道ノ真髓ヲ把握シ皇國復興ノ中核者タリ得ル心身ノ鍊成陶冶ニ精進シアリ
  - (2) 氣温ノ寒冷化ニ伴ヒ呼吸器疾患増加ノ傾向アルニ鑑ミ特ニ兵舎ノ完備ヲ計ルト共ニ積極的並ニ消極的両面ヨリ各種手段ヲ講シアリ
  - (3) 十四日痘瘡患者發生ニ依リ兵團ハ痘瘡ニ對スル第三期豫防ヲ實施シ防疫ノ万全ヲ期シ爾後ノ續發ヲ防止セリ
- 一部隊行動ノ概要

- (1) 五日旅團被服検査ヲ實施ス
- (2) 七日旅團尙慰靈祭ヲ實施ス
- (3) 九日旅團築營竣式並ニ鍛練大會ヲ實施ス
- (4) 十日第一七七兵站病院赤坂少尉、指揮スル患者輸送隊ニ托シ患者六十八名ヲ後送ス
- (5) 十四日獨立歩兵第五四大隊ニ痘瘡患者一名發生ス旅團ハ直ケニ震命第三號ニ基キ痘瘡ニ對スル第三期予防ヲ實施ス
- (6) 十五日眞岡軍醫大尉ハ兵團第三期豫防實施狀況ヲ巡視シ現地細部指導ヲ實施ス
- (7) 十九日佐保軍醫大尉ハ業務連絡並ニ衛生材料受領ノタメ吳城征部隊ニ出張二十日帰隊ス
- (8) 二十三日兵團長會同ニ出席ス爲兵團長都昌ヲ出發三十日帰隊ス  
緒方軍醫大尉隨行シ軍軍醫部連絡會議ニ出席ス
- (9) 二十六日隸下部隊高級軍醫會同ヲ實施シ防疫並ニ復員ニ伴フ



之兵員減耗ノ状況

月間兵員減耗ノ如シ(入院患者中月間判明セルモノヲ含ム)

脚氣	結核性疾患		マラリア		瘰癧		赤痢		病名別		計	其他	外傷	外被病瘡	感冒	
	入院	在隊	入院	在隊	入院	在隊	入院	在隊	旅司	旅砲						旅工
												六四	三	一	三	二八
										五二	四	一〇三			八	一〇
										五	五	七六	一八		一	一〇
										五	一	八五	六一		二	二四
										五	一	九八	二		一	八
										五	一	六三	三	二	一	六
										五	一	五六	四	四	二	八
										五	一	二七			五	四
										五	一	二二	三			七
										五	一	六九	四	九	一	二五
四	二	八	三	一				三七								

三、防疫並ニ防瘧ノ狀況  
 一、防疫ノ狀況  
 (2) 九段地區へ、後送ハ船便ヲ利用シ實施シアリ月間一七七  
 兵站病院へ、後送ハ九日六八名三十日四名計一〇九名ナリ

戰	戰	戰
傷	傷	傷
病	傷	病
二	一	分
五	一	將
六	一	校
八	一	准士官以下
		計

3. 患者輸送ノ狀況  
 (1) 旅團患者療養所ニ於テ收容セル患者左ノ如シ

計	其、他		戰		營養失調症		營養器病	
	入	在	入	在	入	在	入	在
	院	隊	院	隊	院	隊	院	隊
一								
三								
三								
八			三		七		一	
二					六			
二								
四					二			
四					一			
一					三		一	
五								
九					一		一	
三					九		二	

(1) 月間防疫ノ重責ヲ痘瘡豫防ニ指向シセリ

十四日獨歩五二四大隊ニ發生セル痘瘡患者ハ傳染病發生報告ヲ

以テ既報ノ如ク十月三十日一七七兵站病院ヲ退院セル者ニシテ其ノ

感染源ハ九返滯在間中國人ヨリ罹患セルモノト思考セララル

兵團ハ十四日震命第ニ七號ニ基キ痘瘡ニ對スル第三期豫防ヲ實

施シ防疫ノ完璧ヲ期シタリ

防疫ノ細部ハ既報ナルヲ以テ省略ス

(2) 防疫ノ成果

患者發生ノ當初ニ完全徹底セル防疫處置ヲ實施セルヲ以テ

續發ヲ防止シ得月末現在ニ於テ續發ノ微ヲ認メス

二十六日高級軍醫會同ヲ實施シ今次痘瘡防疫ニ關スル教訓

事項並ニ將來對策ニ關シ研究セリ

(3) 教訓事項

該患者ハ慢性中耳炎ニ罹患シアリ又全身ニ互リ疥癬ノ英在ヲ

認メタリ

患者療養所長吉本大尉ノ經驗ニ依レハ既往ニ診斷セル痘瘡患者十三例中体面露出部ニ小創ヲ有セシ者十一例扁桃腺炎一例不明一例ナリシト

上述ノ經驗依リ微スルニ身体露出面ノ小創ハ痘瘡罹患ト相當密接ナル關係ヲ有スルニ在ラスヤト思考セラル

必性病防疫ニ關シテハ部隊毎ニ月例身檢ヲ實施シ特ニ感染ノ虞アル者ニ對シ入院處置ヲ講ジシメアリ

ニ防瘡ノ狀況

ハ防瘡ノ重責ハ再發防止ニ指向シアリ

築營作業ニ引續キ現地自活ニ多忙ヲ極メアル兵員ニ對シ現況トシテ給養ノ適正ヲ期シ難キニ基因シ依然トシテマラリアノ再發者多キハ極メテ遺憾ナリ

現駐屯間ニマラリアノ完全治療ヲ施シ内地ヘノ搬入防止ヲ期スル爲再發者ニ對シ總軍法ニ依ル治療ヲ實施シアル外來者早々

兵團マリアア檢索班ヲ以テ兵團内ノ檢索ヲ實施スル予定ナリ

(2) 月間發生セルマリアア患者左表ノ如ク就業以上

正分	隊別	旅司	五二四	五一五	五二六	五二七	五二八	旅砲	旅工	旅通	計
新鮮マリアア	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
陳旧マリアア	四九	七一	五四	九八	九六	四八	二七	一八	八	五	六九

四健兵對策ノ狀況

ノ一般狀況

内地帰還時全員健兵ニテ即日復興ノ第一線ニ立タテ活動シ得ル体力氣力ノ養成ヲ主眼トシ各級幹部ハ積極的消極的両面ヨリスル保育ノ適正ヲ講シアリ

之カ爲メ實施シタル主要事項左ノ如シ

- (1) 築營作業現地自治作業等ニ於テ 体力ニ應ミタル勤務ノ均等化
- (2) 作業量ト休養ノ合理的配合
- (3) 原職並ニ職業補導等ヲ考慮セル適切ナル勤務及作業ノ配當



(2) 体操登山駐歩等ニ依ル体力ノ錬成特ニ早朝ノ南山登山ニ依ル心身ノ錬磨

(3) 衛生合理的ナル兵舎ノ築營

ニ結核性疾患発生ノ狀況

月間結核性疾患ノ發生ヲ見ス

結核性疾患ノ豫防ニ關シ實施事項ハ前月ニ大差ナキモ特ニ感冒豫

防ニ重ク指向シアリ

之ヲ爲メ兵舎ノ改築、舎内ノ塵芥防止處置ハマスク装着舎敷等ヲ

勵行セシメアリ

五衛生材料ノ狀況

ノ一般狀況

月間軍軍醫部並ニ征部隊ヨリ各二十捆ノ補給ヲ受ケ兵團衛生材

料ハ比較的潤澤トナレリ

之實ニ軍並ニ征部隊ノ特別ノ御配慮ニ依ルモノナリ

兵團ハ之等衛生材料ヲ愈々愛護節用スルト共ニ益々現地自活ニ依ル新製藥劑ノ増量ヲ計リ以テ診療ノ完壁ヲ期シアリ然レトモ現有衛生材料ハ稍々備在シアリ一般ニ概ネ三ヶ月乃至四ヶ月ノ所要量ヲ保有シアルモ尚左記材料ハ不足シアリ

左記

マーキエロクローム	駆虫劑	利尿劑
スルファミン劑	強壯劑	多硫膏
スルファグアニジン	葡萄糖液	硼酸軟膏
カルチニーム液		

現地自活ニ關スル事項

各部隊製藥班ニ於テ現地藥草木等ノ資材ヲ蒐集シ製劑シアル外兵團軍醫部ニ於テ硫黃、豚脂、油類、支那酒、石灰等ノ原料ヲ購入シ各部隊ニ交付シ以テ製藥ノ促進ヲ計リアリ  
現在兵團ニ於テ現地自活シアル藥劑ハ十四五種アリ

六一般衛生狀況

ハ被服ノ狀況

軍並ニ征部隊等ヨリ補給ニ依リ冬衣袴ハ全員ニ支給セラレタルモ  
程度ハ中下程度ニシテ相當ノ補修ヲ要ス  
外套ハ全員夫割程度ヲ保有シアリ

毛布ハ略各人ニ一枚布圍ハ二人ニ一枚程度ナリ

二糧食ノ狀況

主食ハ内地帰還時ノ携行量ヲ差減セル爲メ各人一日六〇〇瓦乃至  
六五〇瓦程度ナリ

副食ハ中國側ヨリノ補給ニ依存シタル外極力現地自若ニ依ル補足  
糧食ヲ企圖シアルモ氣温ノ關係上未タ所期ノ目的ヲ達成スルニ至ラス  
目下ノ副食ハ野菜(人参、大根、青菜)ノミニシテ獸肉肉類ハ殆ト

食糲ニ供セラレラス

3. 宿舎ノ狀況

宿舍ハ完成セリ然レトモ、藁壁ハ暖房ニ適セス又火災豫防上適當ナ  
ニサルヲ以テ之ヲ土壁ニ改修シ月末ニ於テ七八割程度終了セリ

ハ 給水ノ状況

給水ハ先月ト大差ナシグリク水モ冬期ニ入り次第ニ清澄シ來レ  
ルヲ以テ飲料水ニ好適ナリ

入浴水ハ充分ト調難シカフルニ燃料不足ニ起因シ入浴ハ三日ニ回  
程度ナリ

ク 氣象ノ状況

氣候ハ次第ニ寒冷化シ來レリカフルニ駐屯地ハ地形ノ關係上北風ヲ  
受ケ易シ殊ニ月間數度大風アリ風速七八米ニ及ヒ採暖材料ノ  
不足ト相俟ケテ月間ノ最低溫度零下三度ナリ

七 接收ニ關スル涉外事項

特記事項ナシ

ハ内地帰還ニ伴フ衛生諸般ノ處置

自給自活対策

先月引續キ製薬班ニ野草ノ研究班ハ夫々分担業務ニ應ジ任務精勵アリ

特ニ製薬ハ製法簡易ナルモノハ遂次一般ニ普及シアリ

月間自活セシ主要材料ハ概テ左ノ如シ

製劑	名稱	製劑數量	製劑	名稱	製劑數量
疥癬藥	苦楝皮煎	五 二〇〇	苦楝皮煎	煎	四 〇〇
水虫液	石榴皮煎	四 五〇	石榴皮煎	煎	一 〇〇
硫化カルチウム液	取門坐藥	四 〇〇	取門坐藥	煎	二 〇〇
獸炭末	リンガル氏液	六 〇〇	リンガル氏液	液	六 〇〇
炭末	葡萄酒糖液	二 五〇	葡萄酒糖液	液	三 〇〇
ビタミンB末	食塩水	三 〇〇	食塩水	水	七 〇〇
肝臟食	椶栳葉煎	一 〇〇	椶栳葉煎	煎	五 〇〇

一般傷病傳染病發生收療ノ狀況

患者ノ状況ノ項ニ記載セルヲ以テ省略ス

3. マリア性病患者ニ對スル處置

マリア患者ハ徹底治療ト内地ヘノ搬入防止ノ爲メ來春早々兵團檢索班ヲ編成シ巡回檢索ヲ實施スル予定ナリ

性病ニ對シテハ月例身體檢査ヲ利用シ芟除ヲ図リナリ

4. 檢疫

復員ニ伴フ檢疫ニ關シテハ作命ヲ以テ計畫的ニ實施スヘク準備シアリ

尚第四週ヨリ爾後毎週概ネ一回復員會衛生報ヲ開キ檢疫等諸般ノ事項ニ關シ討議並ニ指示スル豫定ナリ

獨立混成旅團第八十七旅

陸軍省衛生部 陸軍省衛生部 陸軍省衛生部

昭和二十一年一月至三月
衛生業務要報
名都昌號
第八十七旅團

### 部隊行動の概要

一般の状況

兵團の南山麓修練場ニ在リテ皇國復興ノ礎石ヲ得ル心身ノ練成ニ精進スルト共ニ現地自活作業職業補導教育復員業務等進捗ヲ期シアリ

又健兵諸施策ヲ強化徹底シ撲滅ニ各種手段ヲ講スルト共ニ田疇熟

防疫ヲ強化徹底シ之カ早期終熄ニ全カヲ傾倒シアリ

- 部隊行動の概要
- (1) 一日兵團全員謝恩台上ニ於テ遙拜式ヲ挙行ス
  - (2) 三日新春演藝大會ヲ開催ス
  - (3) 八日ヨリニ週間兵團寒稽古ヲ實施シ開墾拔根急歩登山詩歌

朗詠等ニ精勵ス

(4) 八日馬匹管理隊帰隊セルモ田帰熱ニ依ル汚染濃厚ナリト判定直  
チニ防疫處置ヲ構ス

(5) 八日兵團マリア検査班ヲ以テ兵團全員ノマリア原蟲検査ヲ開始ス

(6) 駐留眞岡軍醫大尉兵團内田帰熱防疫ノ現地指導ヲ實施ス

(7) 十日石川軍醫中尉以下馬匹管理隊残置患者收容ノタメ歩兵第六十五  
聯隊ニ出張ス

(8) 十四日佐保軍醫大尉軍司令部並ニ鏡兵團ニ業務連絡ニ出張十九日  
帰隊ス

(9) 十四日高級軍醫會同ヲ開キ田帰熱撲滅對策復員衛生業務ニ  
關シ指導ス

(10) 十六日関縣競技會二十九日草刈競技會ヲ夫々開催ス

(11) 三十日高級軍醫會同ヲ實施シ健兵對策 家庭醫學普及教  
育復員關係業務等ニ關シ指示スルト共ニ田帰熱防疫上ノ隘路



打開策ニ関シ檢討指導ス

(2)三十日ヨリ三日間ノ予定ヲ以テ衛生救料検査並ニ復員ニ伴フ衛生  
關係書類ノ検査ヲ實施ス

ニ患者ノ状況

ノ月間戦死傷者ノ状況

(1)月間戦死傷者

(2)平病患者発生ノ状況(練兵休以上)

呼吸器病	栄養失調症	マラリア	脚氣	赤痢	間熱	病名別		計
						旅司	旅砲	
六		一三			二	五	二	九
四		八七		一	一四	五	一	一〇
一四		四六			五	五		一〇
二九		七五	一		一五	六		二〇
五	四	四〇	二		三一	七		三八
四二		三二	一		一三	八		五〇
八		一八	一		七	二		一〇
		五				一		六
四		七	一			一		六
二		八			三	二		五
一一四	四	三三〇	六	一	九	五		一三〇

病名	赤痢		回帰熱		マラリア		脚氣		榮養器病			
	入	在	入	在	入	在	入	在	外	外		
隊別									計	他	傷	病
旅団									二九	四		五
五									一三			一五
五									二四		六	六
五									六九	三	大	五
五									八一	一	一四	二
八									八			四
一〇									一七			一四
七									三			
旅砲									三四			
旅工									八			三
旅通									一六	四		
患療									一七	二		二
計									七二	五	七	八
									七一	六	七	〇
									一一		八	

兵員減耗ノ状況  
 月間兵員減耗ノ状況(入夜患者月間別明七ノ中合)

計	肺炎		胸膜炎		栄養器病		戦傷		其他	
	在隊	在院	在隊	在院	在隊	在院	在隊	在院	在隊	在院
三										
四										
五										
四										
六										
二										
一										
七										
一										
九										
一										
五										
七										

3. 患者輸送、状況

(1) 旅團患者療養所ニ於テ月間收容セル患者ニニ名ニミテ何レモ平病患者ナリ

平病患者ナリ

(2) 十四日九江第一七七兵站病院ニ平病六四名(内担送ハ一七名)ヲ後送ス

三防疫並ニ防瘧ノ状況

ノ防疫ノ状況

(1) 月間防疫、重臭ヲ回避熱防疫ニ指向セリ

(2) 八日馬匹管理隊任務終了帰隊セルカ數十名ニ互ル發熱患者

アリ又保風者殆ント全員ニ及ヒタリ

兵團ハ兵舎ノ關係上之等兵員ヲ各部隊毎ニ隔離シ震命第4號ニ基キ回帰熱ノ防疫ヲ強化スルト共ニマリアア檢索班ヲミテ檢血ヲ實施セルカ管理隊員中ヨリ回帰熱陽性者續出シ月末現在ニ於テ九〇名ノ陽性者ヲ出セリ回帰熱患者發生狀況左表ノ如シ

旅工	旅砲	五一八	五一七	五一六	五一五	五一四	旅司	隊別	日別
		4		6					11
				8			2		12
11	3	5	4		2				13
					2				14
					1				17
		1	9	1		1			18
	2								20
			2						21
	2					5			22
			8			5			24
		1	7			1			26
			1						27
									28
		1				1			29
		1	1						30
									計
	7	13	32	5	5	3	2		

計	患	旅
20		
10		
15	1	
2		
1		
12		
2		
2		
7		
13		
4		
2	1	
1	1	
2		
2		
99	3	

(3) 月間實施セル防疫ノ主要事項概テ左ノ如シ

(1) 馬匹管理隊員並ニ有熱者ノ隔離

(2) 消毒ハ兵團全員ニ徹底的ニ及復實施ス

發生隊ノ連續的ニ概テ隔日毎ニ實施シ他ハ每週一回ノ割合ニ實

施ス

消毒ハ被服寢具類寢蓐等一切ノ物件ニ及ハシメ特ニ發生中隊ノ

寢蓐ハ燒却更新ス

(3) 馬匹管理隊員並ニ有熱者ノ檢血ヲ行ヒ患者ノ早期発見ニ勉ム

(4) 部隊毎ニ身体檢査並ニ衛生講話ヲ及復實施ス

(5) 部隊幹部並ニ衛生部員ハ隔離並ニ消毒等ニ関シ率先現地指

導ス

(一) 部隊長會同、軍醫會同ヲ関キ防疫對策ヲ考究ス  
 (二) 旅團高級軍醫並ニ軍醫部之員ニ依ル現場指導  
 及防疫ノ狀況

(三) 震命第三一號ニ基キマリア檢索班ニ依リ兵團全員(二六九八名)檢  
 査ヲ實施セリ成績左表ノ如シ

部 隊 名	正 務 員	三 日 熱	熱 帯 熱	遷 移 熱	計	檢 索 件 數	對 ス 傷 性 率
高 五 五 五 天	五 一 七	五 一 八	四 一 三	二 四	五 〇 七	二 一	〇
旅 砲	五 一 七	五 一 八	四 一 三	二 四	五 〇 七	二 一	〇
旅 通	五 一 七	五 一 八	四 一 三	二 四	五 〇 七	二 一	〇
患 療	五 一 七	五 一 八	四 一 三	二 四	五 〇 七	二 一	〇
計	五 一 七	五 一 八	四 一 三	二 四	五 〇 七	二 一	〇
檢 索 件 數	五 一 七	五 一 八	四 一 三	二 四	五 〇 七	二 一	〇
對 ス 傷 性 率	五 一 七	五 一 八	四 一 三	二 四	五 〇 七	二 一	〇
計	五 一 七	五 一 八	四 一 三	二 四	五 〇 七	二 一	〇

(四) 之等陽性者ニ對シ硫規ニ週間療法並ニ「キノプラスモヒン」療法ヲ實施  
 シアリ

服藥法ハ部隊毎ニ一括統制シ實施シアリ

又服藥者ニ對スル勤務ノ輕減安靜等指導實施セシメアリ

四健兵對策ノ狀況

兵團健兵對策ノ重要ヲ若年次兵ノ保育並ニ平初撲滅對策ニ指向シアリ

之カ爲部隊長會同高級軍醫會同ニ於テ數次ニ亙リ兵團ニ即應セル  
具體策ヲ考究檢討シ之カ具現實行ニ努メアリ

目下實施シアル主要事項左ノ如シ

(1) 体力ニ應シタル勤務ノ附与特ニ勤務割出表ノ再檢討ニ依リ勤務時  
間、場所、負担量等ヲ個々ノ体力ニ即應セシム

(2) 消費エネルギート攝取エネルギート調和ヲ計ル之カ爲兵業時間計  
測、養價算定ヲ實施シアリ

目下消費エネルギー過大(平均一日五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、一百一十、一百一十一、一百一十二、一百一十三、一百一十四、一百一十五、一百一十六、一百一十七、一百一十八、一百一十九、一百二十、一百二十一、一百二十二、一百二十三、一百二十四、一百二十五、一百二十六、一百二十七、一百二十八、一百二十九、一百三十、一百三十一、一百三十二、一百三十三、一百三十四、一百三十五、一百三十六、一百三十七、一百三十八、一百三十九、一百四十、一百四十一、一百四十二、一百四十三、一百四十四、一百四十五、一百四十六、一百四十七、一百四十八、一百四十九、一百五十、一百五十一、一百五十二、一百五十三、一百五十四、一百五十五、一百五十六、一百五十七、一百五十八、一百五十九、一百六十、一百六十一、一百六十二、一百六十三、一百六十四、一百六十五、一百六十六、一百六十七、一百六十八、一百六十九、一百七十、一百七十一、一百七十二、一百七十三、一百七十四、一百七十五、一百七十六、一百七十七、一百七十八、一百七十九、一百八十、一百八十一、一百八十二、一百八十三、一百八十四、一百八十五、一百八十六、一百八十七、一百八十八、一百八十九、一百九十、一百九十一、一百九十二、一百九十三、一百九十四、一百九十五、一百九十六、一百九十七、一百九十八、一百九十九、二百)

(3) 幹部ノ骨、肉、深愛ニ徹セル部下指導  
(4) 患者、早期発見ト幹部骨、肉愛ニ基ク部下看護

(5) 患者(特ニ皮膚病)浴槽ノ設置ト特別患者食ノ給与

目下各均一〇〇名ノ患者ニ對シテ一日宛鶏卵三個 豆乳ニ〇〇杯ヲ交

付シアリ

(6) 衛生識能ノ向上ノ爲メ毎週概テ一回ノ割合ニ計畫表ニ基テ醫學常識ヲ教育ス

識ヲ教育ス

(7) 獨歩五二八大隊ニ於テハ部隊兵員体力ヲ甲乙丙丁ノ四階級別ニ

勤務ノ均等化ヲ計リアリ又毎食中隊別ノ食事ヲ部隊長以下本

部諸官比較檢討シ之カ改善ト工夫ヲ指導シアリテ着々成果ノ向上

ヲ見ツンアリ

(8) 積極的鍛練ニ依ル資質ノ向上

(9) 精神教育ニ依ル士氣ノ昂揚

ニ、結核性疾患發生ノ狀況

月間新患ノ發生ヲ見ス

結核予防ノ爲メニハ感冒予防ト基礎体力ノ増強ヲ重点トシ



實施シアリ

五衛生材料ノ状況

ノ一般状況

月間衛生材料ノ補給ヲ受ケサルモ現保有量ヲ極力愛護節用シ  
重莫使用ニ徹スルト共ニ器械類ノ手入れ格納保全ヲ確實ナラシメ保  
存命數延長ヲ計リアリ

又現地自活ニ依ル新製ノ増量ヲ計リ以テ診療ノ完壁ヲ期シアリ

月末保有量ハ概ネ一ヶ月乃至三ヶ月ノ所要量ナリ

目下不足ヲ來タセル衛生材料ハ左ノ如シ

サルバルサン ガルタニム液 マーキロクロム オキシドール 酒精

祛痰劑 多硫膏 駆虫劑等

ニ現地自活ノ状況

前月ト大差ナキヲ以テ省略ス

大一般衛生状況

1 被服ノ状況

月間被服類ノ補給減耗無ク前月ト大差ナシ

2 糧食ノ状況

主食ハ帰還時ノ携行量ヲ削減シアル為メ計入一日俵米文ノ大差

有程度ニシテ之ヲ三分携行程度ニスレハ副食ハ中國側ヨリノ補給

ニ依リ野菜ハ所要量ヲ満タスニ充分ナルモ肉類僅少ニシテ蛋白質

脂肪ノ攝取意ノ如クナラス

目下植物性油ノ増量ヲ計リアリ

3 宿營ノ状況

宿舎ノ土壁ノ改修ハ略完成セルモ藁ノ補給充分ナラザルヲ以テ

寝蓐ハ次第ニ減耗シ來リ就寢時ノ防寒ニ稍々支障アルヲ認ム

目下枯草ヲ蒐集利用ニ勉メアリ

4 給水ノ状況

給水ノ状況前月ト大差ナシ

5 氣象ノ狀況

天候ハ一般ニ好晴日多ク氣温比較的溫暖ニシテ降霜・結氷ヲ見シコト  
數日過キス又未ダ降雪ヲ見ス

然レモ地形上時々寒風ニ見舞ハレ氣温ノ急変ヲ見シコトアリ  
七 接收關スル涉外事項

特記事項ナシ

入内地帰還ニ伴フ衛生諸般ノ處置

ノ自給自活對策

1 衛生材料ノ自活ハ各隊製藥班ニ於テ銳意藥草木ノ蒐集利

用ニ勉ムルト共ニ軍醫部ニ於テ硫黃・豚脂・支那桐・植物油ヲ購入

各部隊ニ交付シ各種軟膏・油劑ノ製劑利用ニ勉ムアリ

2 内地帰還後ノ疾病予防並ニ家庭藥ノ自給自足ヲ目的トセル家庭

醫學普及教育ノ概チ每週一面部隊單位ニ實施シアリ

3 一般傷病傳染病ノ發生收療狀況

患者ノ状況ノ項ニ記載セルヲ以テ省略ス

3. マリアア性病患者ニ對スル處置

1. マリアアニ對スル處置トシテ兵團マリアア檢索班ニ依リ兵團全員ノ

檢索ヲ實施シ陽性者ニ對シ總置場ニテ療養ヲ實施シ學内ハマリアア搬入防室期シアリ

2. 性病患者ニ對シテハ身体檢査時患者ノ發見ニ應ジ患者ハ送院シ

治療ノ完壁ヲ期シアリ

4. 檢疫

震命第三ニ號ニ基キ復員帰還ニ伴フ檢疫實施計畫ヲ樹立セリ

又腸管系急性傳染病ニ對スル檢疫ニ関シテハ佐保軍醫大尉第

十三師團軍醫部ニ連絡シ來月中實施ノ予定ナリ